

航空自衛隊

AC-14

T-33 w/エンジン

JASDF T-33 w/ENGINE



発売元：有限会社ブラッツ
 〒424-0886 静岡県静岡市清水区草薙3-1-1
 TEL. 054-345-2047 FAX. 054-345-2285
 PLATZ CO., LTD.
 3-1-1 KUSANAGI SHIMIZUKU SHIZUOKA 424-0886 JAPAN

第二次世界大戦終盤にジェット戦闘機が登場し、航空兵器はジェット時代に突入していきました。アメリカではケリー・ジョンソン率いるロッキードの開発チーム、スキャンワークスが軍からの依頼を受け1943年に開発をスタート。わずか180日あまりで作り上げたのがP-80、のちのF-80シューティングスターでした。直線翼に機体中央にエンジンを搭載、エアインテークを機首両側の主翼付け根に設けた設計はその後のジェット戦闘機の標準スタイルを作り出したのです。また開発初期、搭載エンジンのトラブルに悩まされたこともあり、胴体後部を分割式としてエンジンの整備や脱着をやりやすくするというデザインを採用したのも特徴でした。1945年に配備開始されたP-80(F-80)ですが、それをベースにロッキードは独自に練習機型を開発。機体を延長して複座型とした機体にエンジンはP-80(F-80)と同じアリソンJ33を搭載。1948年に初飛行に成功すると、T-33として制式採用されたのです。練習機としての安定した飛行性能、操縦性は高い評価を得てアメリカはもとより、世界30か国以上で使用される傑作機となり1954年に航空自衛隊が発足した日本ではアメリカからの供与という形でT-33Aが配備され、自衛隊初のジェット機となったのです。その後、ノックダウン生産を経て1956年3月からは川崎重工が本格的な日本国内でのライセンス生産をスタート。1959年3月に生産終了するまでにその生産機数は210機にも達したのです。それらの機体はジェット練習機として航空自衛隊はもちろん、民間航空会社のパイロット養成にも大きな役割を果たしました。さらに、パイロットのみならず、独特なコックピットやアナログな部分を多く持った整備をこなすことで優秀な整備員の育成や戦後の日本の航空機産業の発展にも寄与したのです。

航空自衛隊のT-33AはF-86Fセイバーとともに初期の航空自衛隊の主力機として各部隊に配備され、戦闘機部隊の支援や各部隊の連絡任務、要人の移動などにも幅広い任務に使用、活躍しました。1961年に開設された日本海側で唯一の戦闘機部隊が所属する基地、小松基地にも配備され、日本海の領空侵犯などに目を光らせる第6航空団の配備機として連絡用のほか、訓練時の標的曳航など各種の支援任務に活躍したので

す。

隊員からは親しみを込めて「Tバード」、「サンサン」などの愛称で呼ばれ、愛された航空自衛隊のT-33Aでしたが、1988年に後継機となるT-4の配備が開始されるとともに徐々に退役。2000年の6月29日に埼玉県の入間基地で行われたセレモニーを最後に航空自衛隊のT-33Aは全機が退役したのです。その活躍の歴史に幕を降ろしたT-33Aですが、今でも多くの機体が博物館などに展示されています。小松基地でも基地入口のゲートガードとして展示され、その姿を見ることができるとのことです。

The T-33A was the first jet trainer for the JASDF's flight training. The US Airforce developed the T-33A from the Lockheed P-80/F-80.

The Allison J33 engine used the same engine as the Lockheed P-80/F-80 and added two seats and a longer fuselage. The T-33A succeeded in its first flight in March 1948. It was not only used in the US Airforce, but more than 30 countries all over the world used this aircraft for over 40 years, with a production qty of over 6500 units.

In 1955, the USA supplied the T-33A to the JASDF and the JASDF started operations with this aircraft. The next year in March, Kawasaki started developing JASDF's T-33 under the license of this aircraft in Japan. From 1956 to 1959, Kawasaki built 210 T-33A aircrafts. This T-33A operated as JASDF's main trainer, as it was ranked equally with the F-86 Saber. In 1961, this aircraft was delivered to the Komatsu airbase too.

The T-33A was nicknamed "San-San" or "T-bird" for more than 30 years, but after the next trainer, the T-4, arrived, the T-33As were gradually decommissioned.

The last flight ceremony was held on June 29, 2000, at the Iruma airbase. This may be the best jet trainer in JASDF's history and still remembered by aircraft enthusiasts.

The decommissioned T-33As are now being displayed at some museums in Japan, as well as at the gate of the Komatsu airbase.

組み立てをはじめる前に

この説明図をよく読んで工作の流れをつかみ、塗装や組み立てなどの手順を考えて作業をしてください。

■このキットはディスプレイ専用プラスチックモデルキットです。接着剤、工具、塗料などは入っていませんので別にご用意ください。次のような道具があると便利です。

●プラスチックモデル用接着剤(通常タイプ・溶剤タイプ) ●デザインナイフ(カッター) ●ニッパー ●ヤスリ各種 ●プラスチックモデル用塗料 ●ピンバイス、ドリル ●パテ ●エポキシ系接着剤 ※接着剤や塗料、工具などはそれぞれの取扱説明書に従って正しく使用してください。

■キットの部品やできあがった完成品などは、直射日光や高温になる場所を避けて保管してください。

■部品を切り取ったあとの不要部品や、ビニール袋などは自治体の定める分別収集基準に従って捨ててください。

デカールの貼りかた

①貼りたいデカールを切り取り、切り取ったデカールを水またはぬるま湯に10秒程度浸します。②台紙ごと引き上げ、布やティッシュペーパーなどの上に置き、余分な水分を吸い取り取らせます。③台紙の端を持ち、デカールをスライドさせながら所定の位置に貼ります。④位置は指先に少量の水をつけ、少しずつずらしながら微調整してください。⑤柔らかい布や綿棒などで押し出すようにしながら、デカール内側に残った気泡や水分を取り除いてください。⑥貼り終わったデカールが十分に乾燥するまではさわらないように注意してください。⑦凸凹に馴染みにくい場合は、蒸しタオルや市販のデカール軟化剤を使用してください。⑧デカールの上からクリアーをかける場合は事前に余ったデカールでテストをおこなって問題がないことを確かめてからにしてください。

Study the instructions thoroughly before assembly. When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.

Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used. Use plastic cement and paints only (available separately).

Use cement sparingly and ventilate room while constructing. Keep out of reach, of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.

アフターサービスについて

部品の不足や不良に関してはお手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)数量、を明記の上、メールまたは電話/FAX、お手紙でご請求ください。無償で正規の部品を送付させていただきます。また破損、紛失については、実費で部品をお分けいたしております。お手数ですがメールまたは電話/FAXでお客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、部品名(番号)をお知らせいただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

■電話/FAXでの受付

TEL: 054-345-2047 (AM10:00~PM4:00) FAX: 054-345-2285

■メールでの受付

カスタマーサービス係: cs@platz-hobby.com

■お手紙での受付、部品代金の送付先

〒424-0886 静岡県静岡市清水区草薙 3-1-1
 有限会社ブラッツ 部品請求係 宛

〈作る前にお読み下さい〉 ※この商品は駐機状態と整備状態を選択して製作可能です。どちらかを選んで組み立ててください。

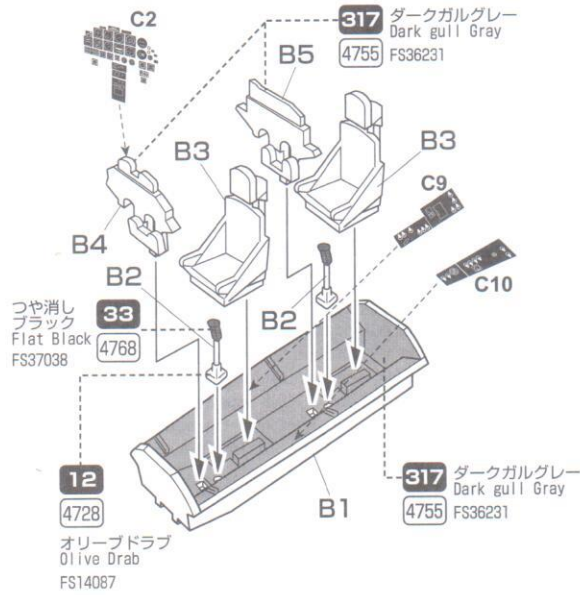
部品の組み立て Assembly instruction

各部品を切り取り、仮り組みをおこなってからパーツ同士を接着してください。
Please remove each bulks and cement them after trial fitting.

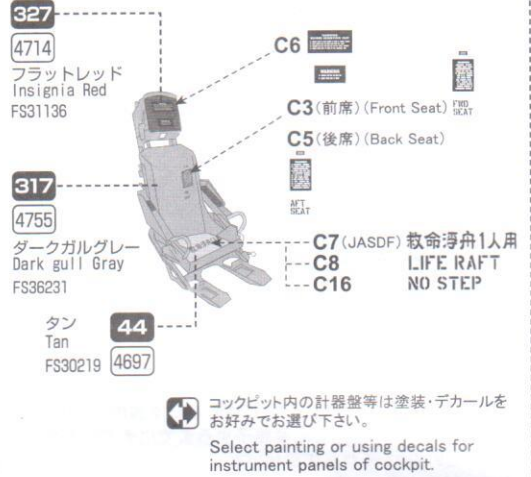
※塗装指示の数字は

- 00** GSIクレオスのMr.カラー
GSI Creos/Mr. Color
- 0000** テスター/モデルマスター
Testors/Model Master

1 コックピットの組み立て
Cockpit Assembly

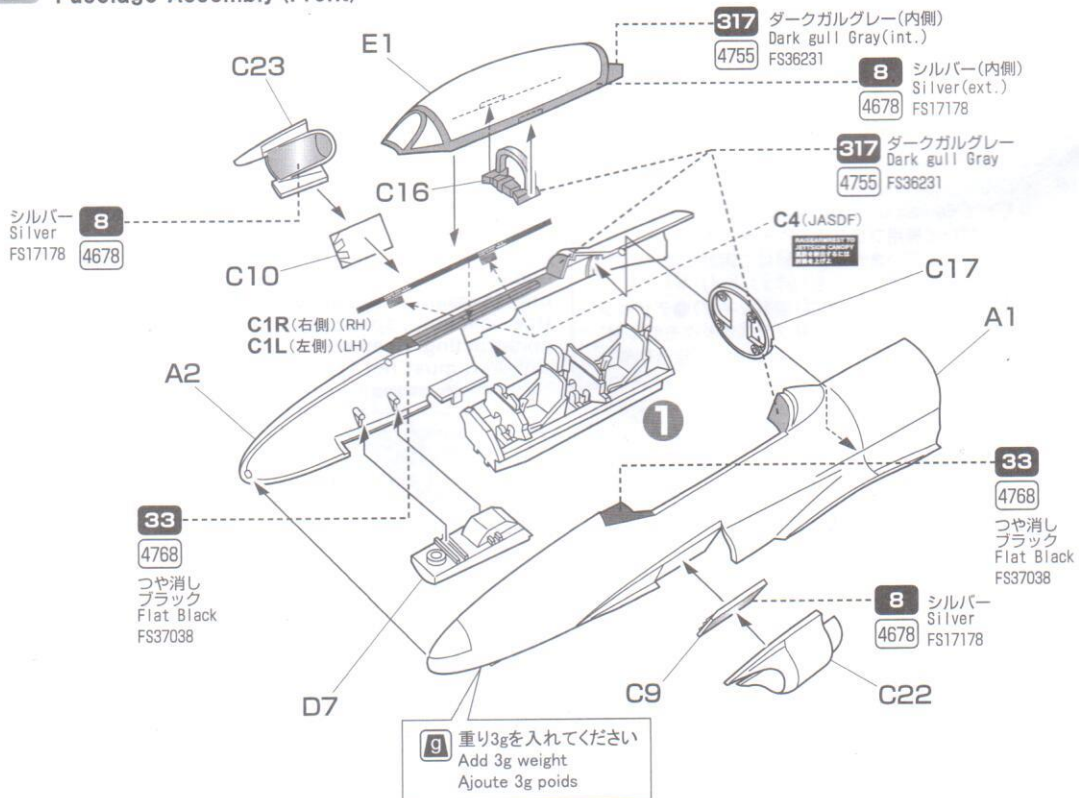


シートの塗装・デカール説明
Marking & Painting



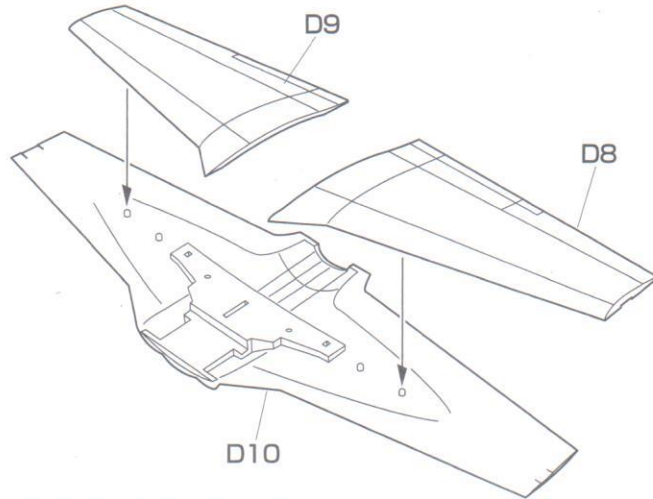
◆ コックピット内の計器盤等は塗装・デカールをお好みでお選び下さい。
Select painting or using decals for instrument panels of cockpit.

2 胴体前部の組み立て
Fuselage Assembly (Front)

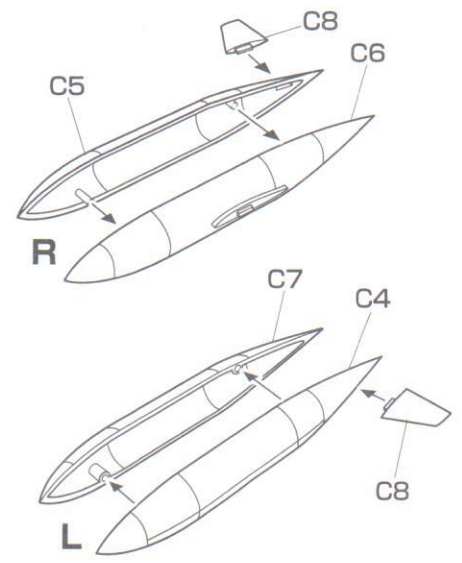


9 重り3gを入れてください
Add 3g weight
Ajoute 3g poids

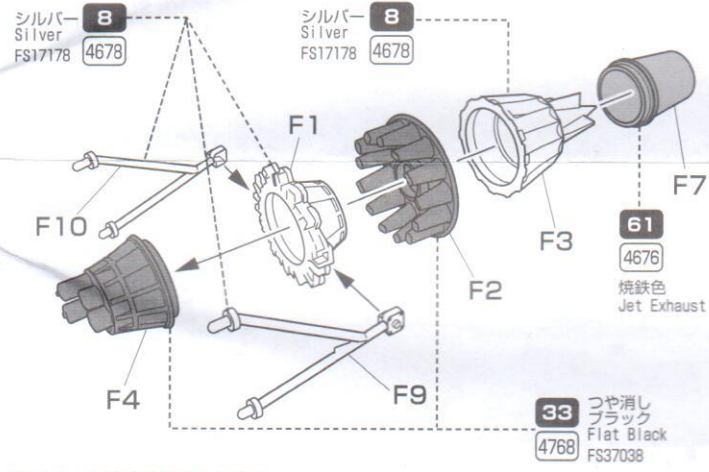
3 主翼の組み立て
Main Wing Assembly



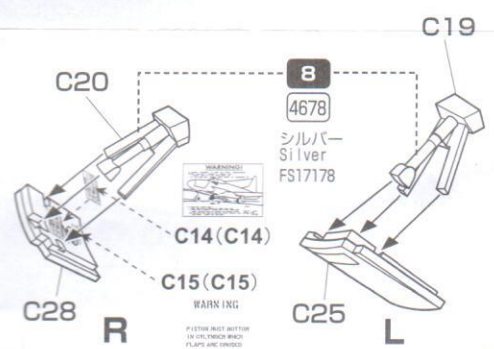
4 増槽タンクの組み立て
Auxiliary Fuel Tank Assembly



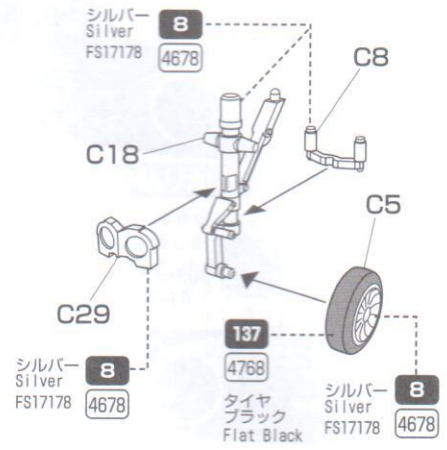
5 エンジンの組み立て
Engine Assembly



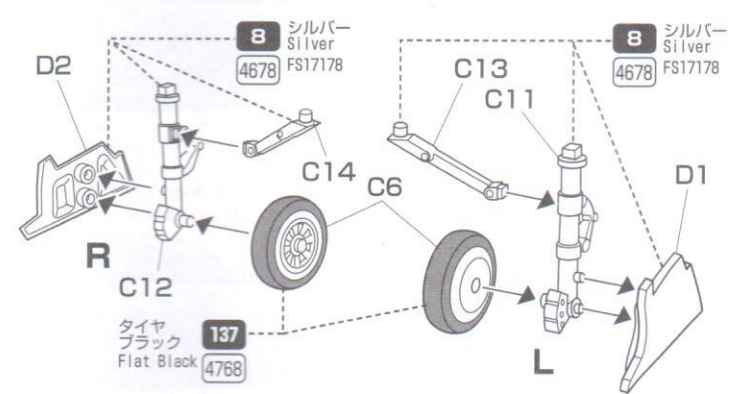
6 エアーブレーキの組み立て
Air Brake Assembly



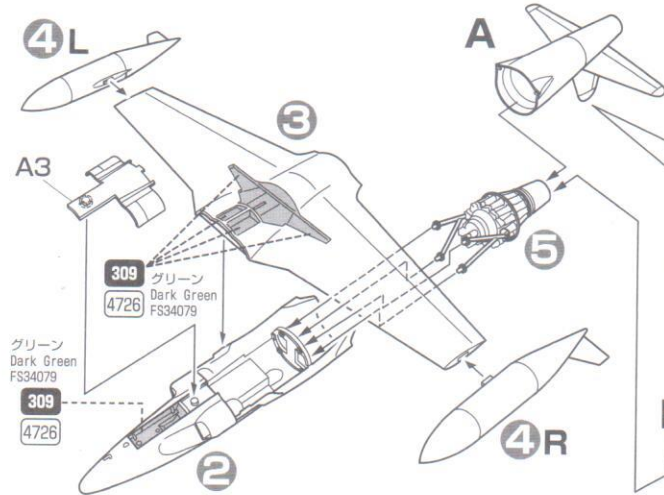
7 前輪の組み立て
Nose Gear Assembly



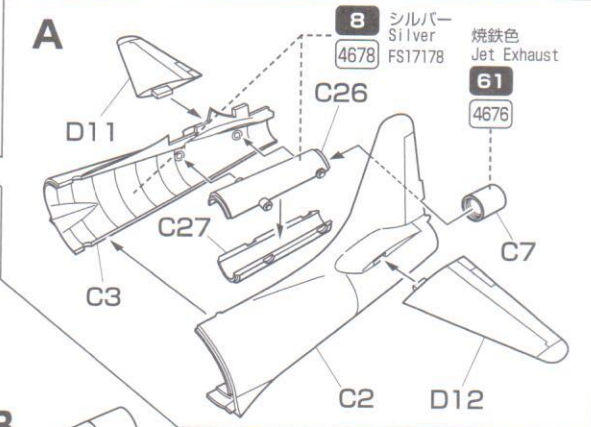
8 後輪の組み立て
Main Gear Assembly



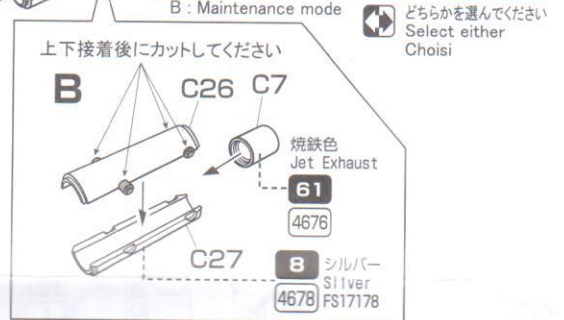
9 胴体・主翼・その他の取り付け Installation (Fuselage/Main Wing/Other)



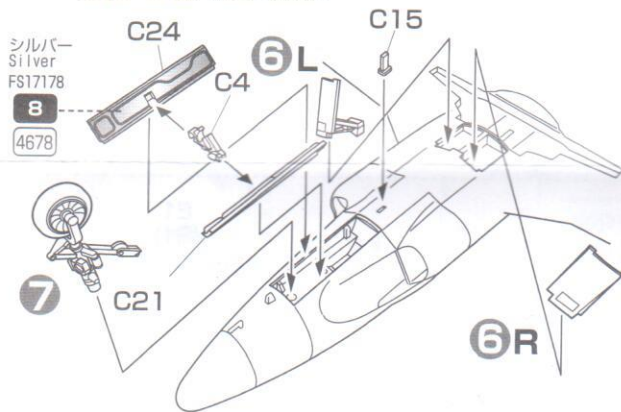
駐機状態で製作する場合は[A]を組立てます
A: Parking mode



駐機状態で製作する場合は[B]を組立てます
B: Maintenance mode

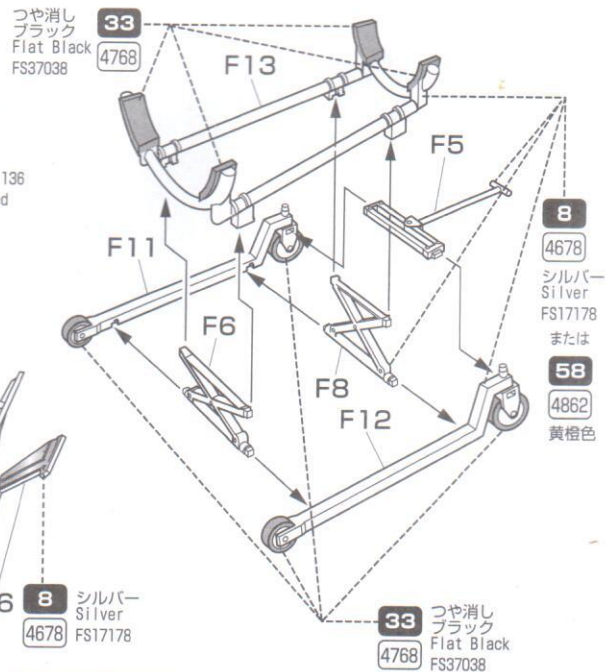


10 前輪の取り付け Nose Gear Installation

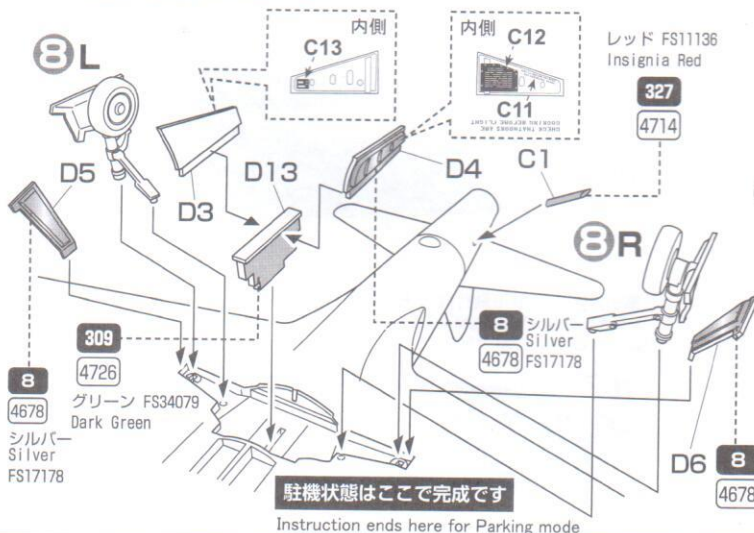


12 台車の組み立て Dolly Assembly

機体後部を分離して整備状態で製作する場合
B: Maintenance mode



11 後輪の取り付け Main Gear Installation

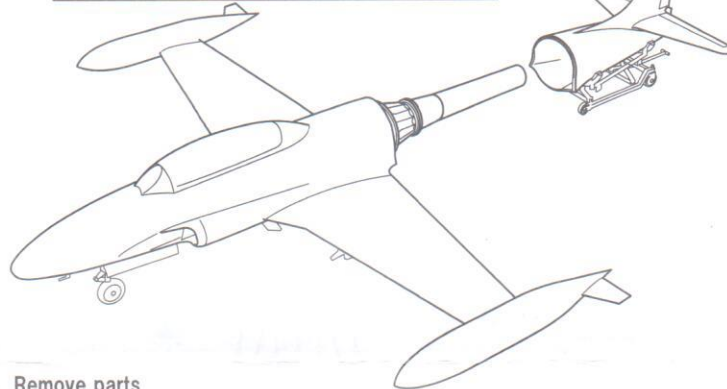
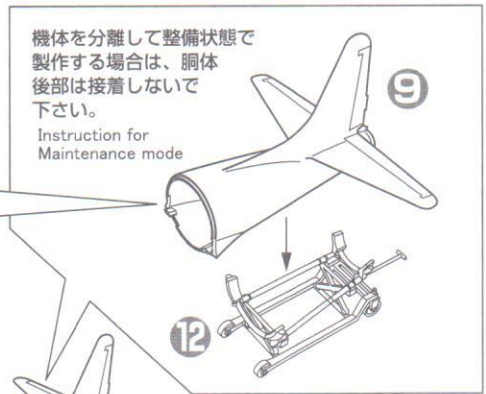
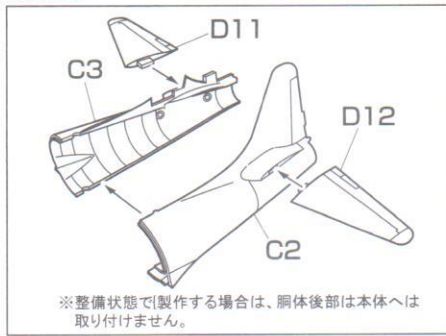


駐機状態はここで完成です
Instruction ends here for Parking mode

13 完成 Complete

機体後部を分離して整備状態で製作する場合

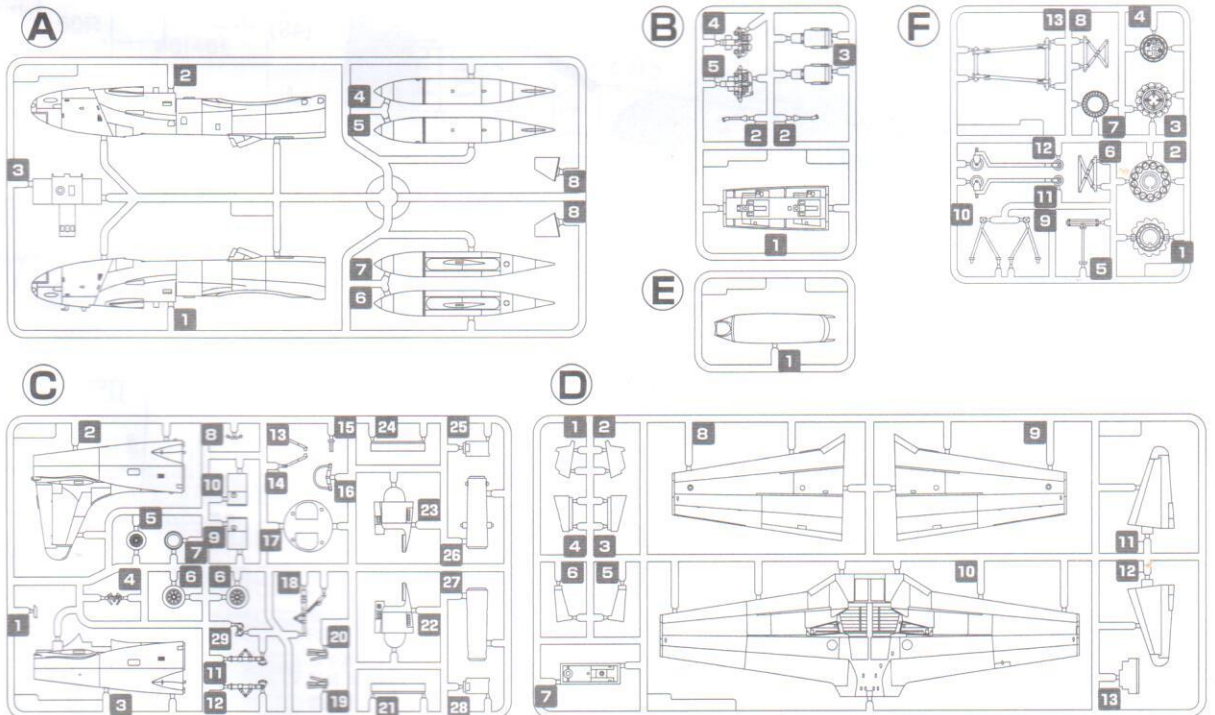
B : Maintenance mode



部品の切り離し Remove parts

部品をランナーから切り離す際には、組立図の順序に従って番号を確認しながら切り離してください。特に小さな部品や細い部品は慎重に切り離してください。

When you remove parts from the runner, carefully follow the instructions.



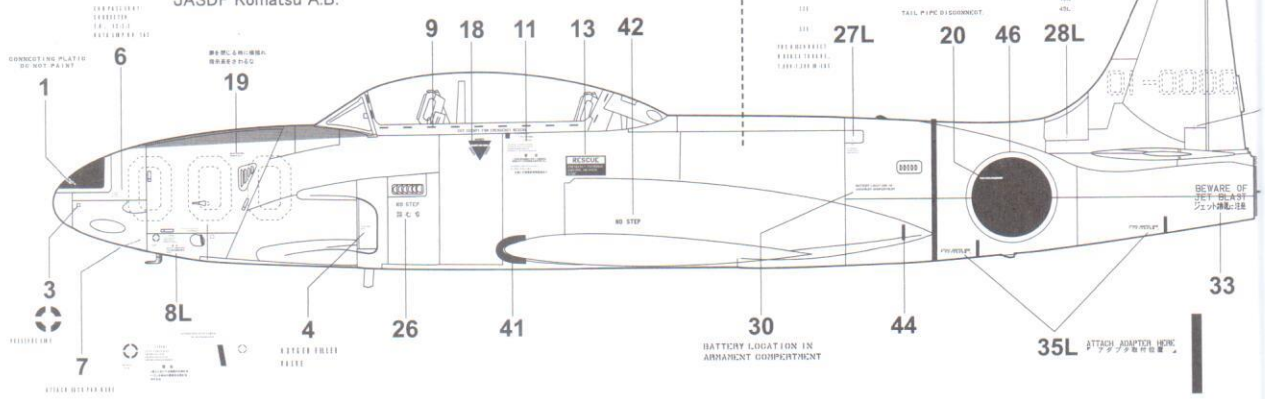
※A~F部品の番号を間違えないように注意してください。
Be careful not to misunderstand the number of A to F parts.

塗装及びデカール説明 / Marking & Painting

縮尺: 100%

航空自衛隊 小松基地
JASDF Komatsu A.B.

左側面 LEFT VIEW



I #03~#07

VIII #01~#02

※#01と#02の機体は、当時本体の銀塗装は施されていませんでした。

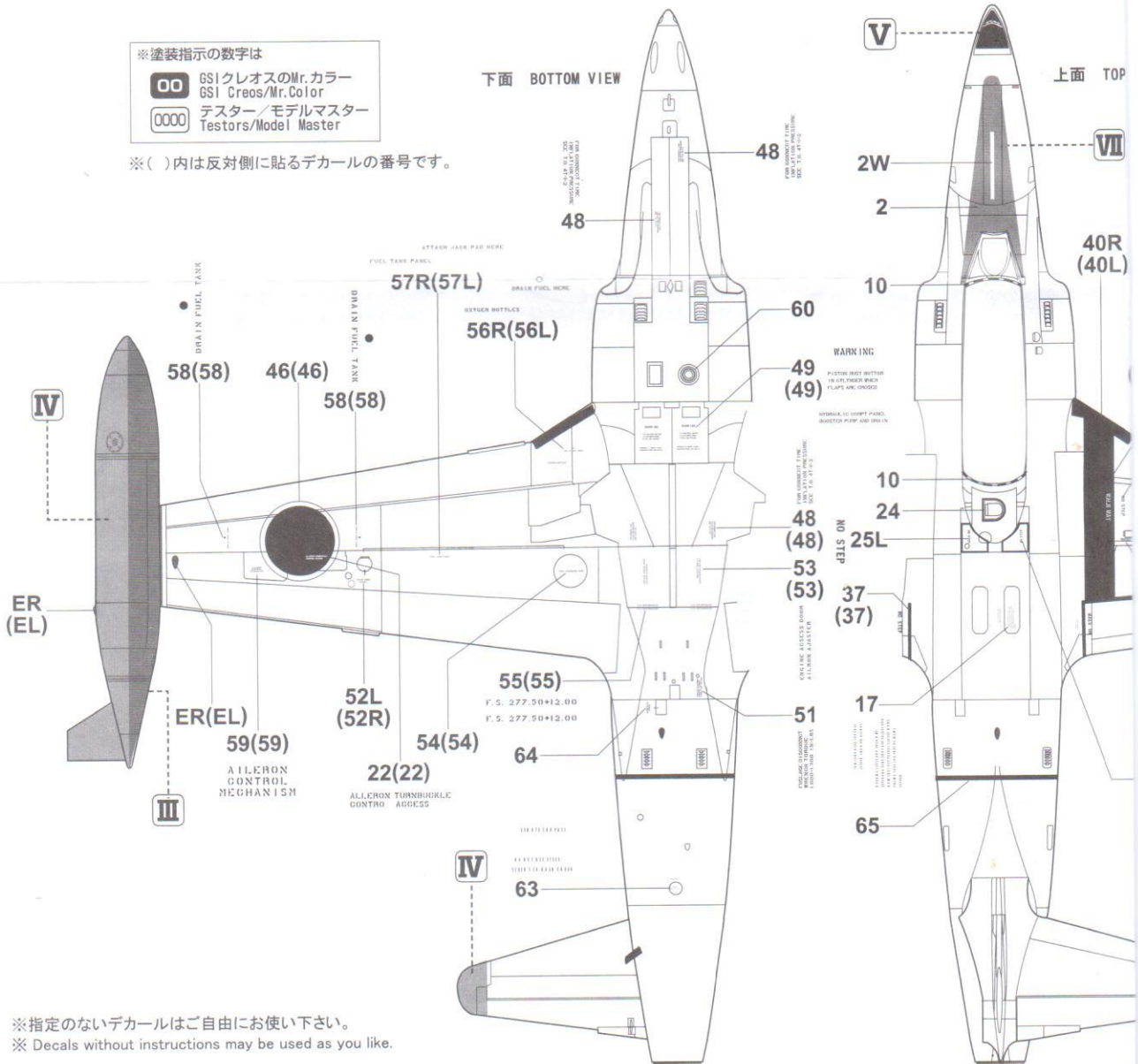
※塗装指示の数字は

- 00 GSIクレオスのMr.カラー
GSI Creos/Mr. Color
- 0000 テスター / モデルマスター
Testors/Model Master

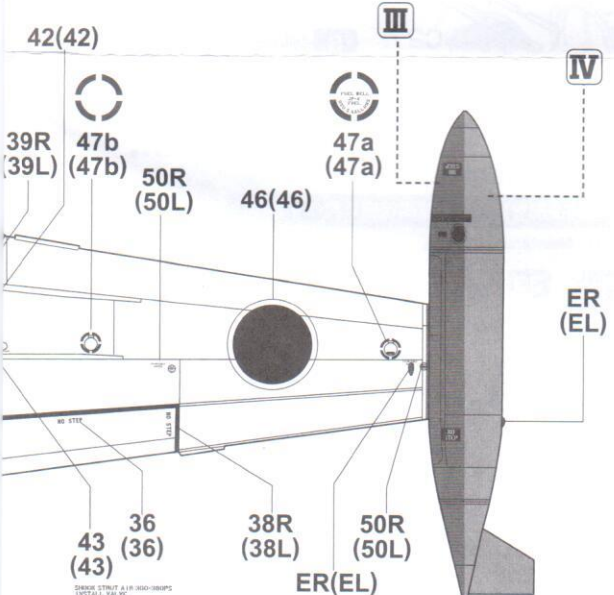
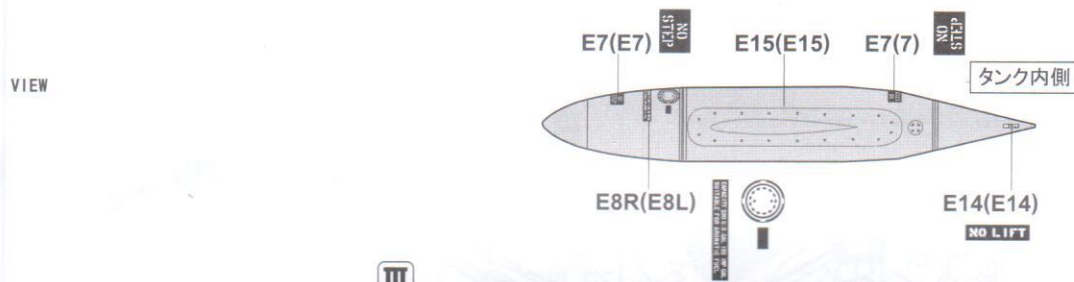
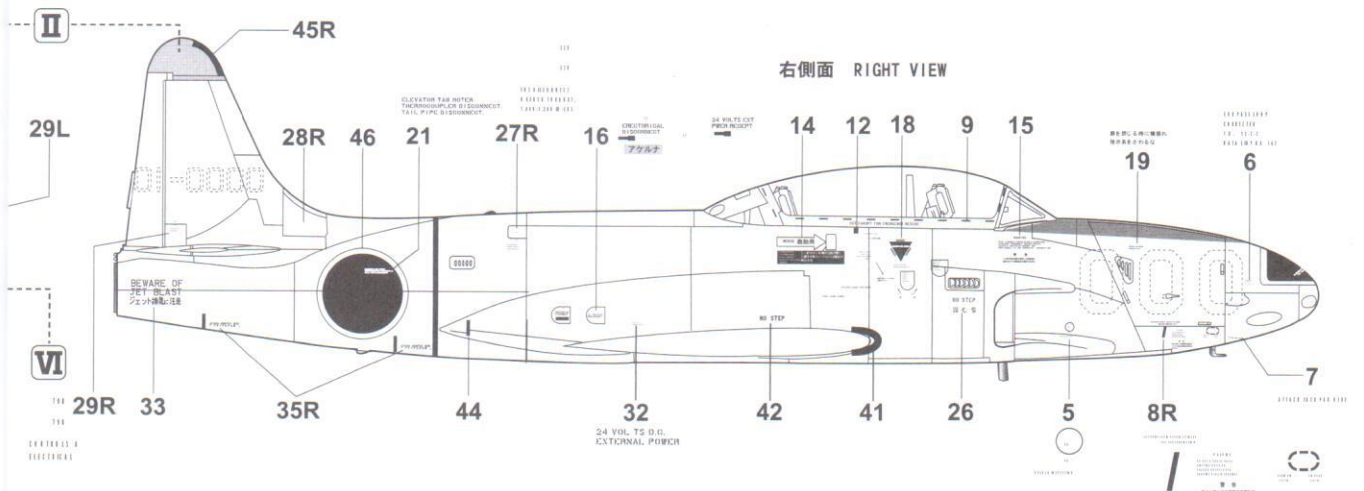
※()内は反対側に貼るデカールの番号です。

下面 BOTTOM VIEW

上面 TOP



※指定のないデカールはご自由にお使い下さい。
※ Decals without instructions may be used as you like.



- I** 8 4678 シルバー Silver
- II** 73 4693 エアクラフトグレー Aircraft Gray
- III** 309 4726 グリーン FS34079 Dark Green
- IV** 173 4703 蛍光オレンジ FS28915
- V** 33 4768 つや消しブラック Flat Black
- VI** 61 4676 焼鉄色 Jet Exhaust
- VII** 302 4734 グリーン FS34092 Medium Green
- VIII** 90 シャインシルバー又はアルクラッドII「ジュラルミン」(ALC102) ALCRAD II Duralumin

第6航空団 第306飛行隊 小松基地
6th Air Wing 306th Fighter SQ
Komatsu A.B. 1981-1995

#05

機付整備員氏名階級
C TSGT SHIMAZAKI **IV** **E3 E5 (E3)(E5)** **I**

第6航空団 第303飛行隊 小松基地
6th Air Wing 303th Fighter SQ
Komatsu A.B. 1981-1995

#06

IV **E3 E5 (E3)(E5)**

第6航空団 第306飛行隊 小松基地
6th Air Wing 306th Fighter SQ
Komatsu A.B. 1981-1995

#07

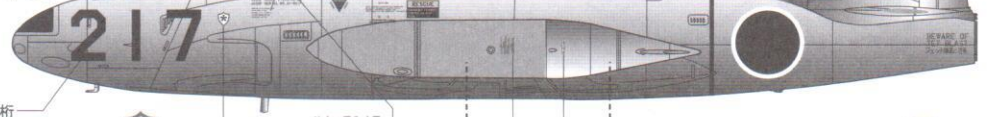
B **IV** **E3 E5 (E3)(E5)** **I**

205飛行隊マーク

縮尺: 80%

第6航空団 第4飛行隊 小松基地
6th Air Wing 4th Fighter SQ
Komatsu A.B. 1960-1964

#01



シリアルナンバーの下3桁

飛行安全表彰章 A

61-5217
シリアルナンバー

型式名称

シリアルナンバー

4th SQ
61-75

製造工場記号(川崎を示すKA)

JASDF MODEL T-33A-10-1A
JASDF SERIAL NO. 61-5217

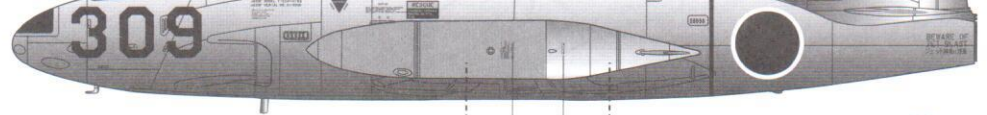
使用燃料の指示

SERVICE THIS AIRPLANE WITH JP-4A FUEL. IF NOT AVAILABLE T.O. T-33A-10-1 WILL BE CONSULTED FOR CRUISE ACTION

製造ブロックナンバー

第6航空団 第8飛行隊 小松基地
6th Air Wing 8th Fighter SQ
Komatsu A.B. 1960-1964

#02

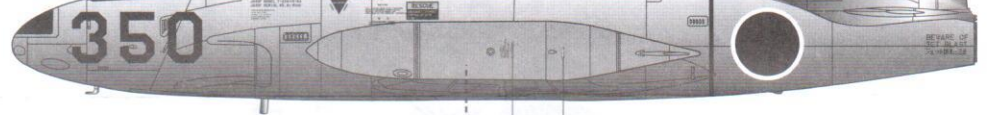


IV E3 E5 I
(E3) (E5)

8th SQ
60-64

第6航空団 第205飛行隊 小松基地
6th Air Wing 205th Fighter SQ
Komatsu A.B. 1965-1976

#03

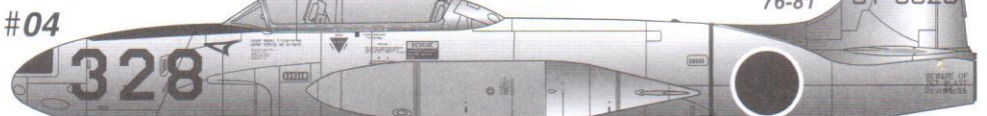


IV E3 E5 I
(E3) (E5)

205th SQ
65-76

第6航空団 第205飛行隊 小松基地
6th Air Wing 205th Fighter SQ
Komatsu A.B. 1976-1981

#04

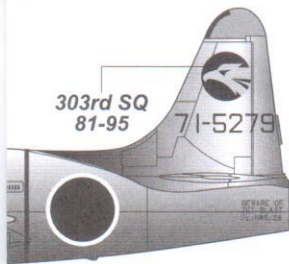


IV E3 E5 I
(E3) (E5)

第6航空団マーク

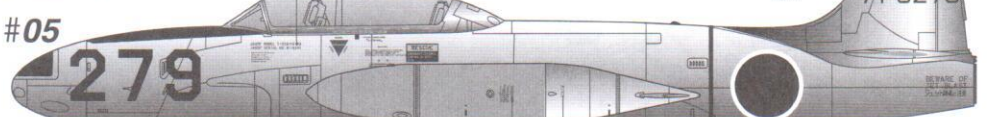
205th SQ
76-81

303rd SQ
81-95



第6航空団 第303飛行隊 小松基地
6th Air Wing 303th Fighter SQ
Komatsu A.B. 1981

#05

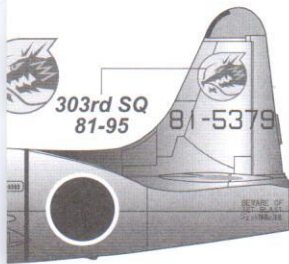


IV E3 E5 I
(E3) (E5)

205飛行隊マーク B

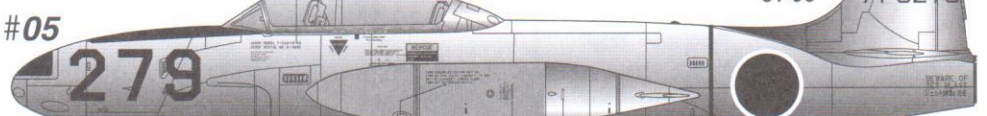
303rd SQ
81

303rd SQ
81-95



第6航空団 第303飛行隊 小松基地
6th Air Wing 303th Fighter SQ
Komatsu A.B. 1981-1995

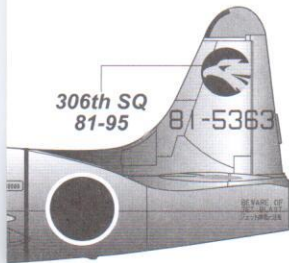
#05



IV E3 E5 I
(E3) (E5)

303rd SQ
81-95

306th SQ
81-95



E1 (E1) IV E3 E5 I
(E3) (E5)